

平子町北地内市有地における建物解体検討委託の調査結果等について

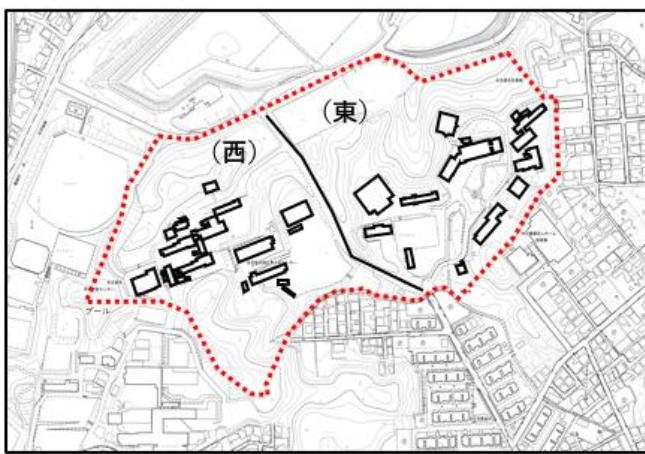
1 検討委託の概要

平子町北地内市有地（以下「当該市有地」という。）におけるトライアル事業の終期である令和8年度末を見据え、その後の利活用を検討するため、当該市有地の既存建物の解体に要する概算費用及び概略の施工期間の算出を目的として実施

工期：R6. 11. 12 ~ R7. 3. 21
金額：1, 925, 000 円

2 解体対象となる既存建物

当該市有地（約 15 ha）は、「旧名古屋市立保育短期大学」「旧名古屋市立若松寮」「旧名古屋市立緑丘小中学校」「旧名古屋市学校給食センター」の跡地であり、その中に残置されている大小44棟の建物と旧名古屋市立緑丘小中学校に附属するプール（計45施設）



〈調査における算出条件〉

- ・敷地中央の南北に走る構内道路を境とし、解体エリアを東西2つに分割する。
- ・解体業務には、施設解体工事の設計業務を含む。
- ・既存建物周辺を更地にする程度の想定とし、その他造成費は含めない。

3 調査結果の概要

項目	東エリア	西エリア	合計
概算費用	8億3,613万円	6億5,366万円	14億8,979万円
概算の施工期間	15か月	13.5か月	28.5か月

※東西同時施工なし最速

4 今後について

上記の検討委託結果により、建物の解体には多額の費用が必要なことが判明しました。当該市有地は、地震等による建物倒壊の危険、不法侵入、不審火等の防犯面のリスク、有害鳥獣の出没など、様々なリスクがあり、安全安心の観点から、不安定な状況をできる限り早期に改善する必要があります。このため、令和7年度にサウンディング型市場調査を行い、透明性の高い、開かれた形で、民間による柔軟なアイデアや資金力の活用を検討します。

<参考>平子町北地内市有地について

1 所在地

尾張旭市平子町北59番地15、16



2 地積

約15ha

※バンテリンドーム ナゴヤ約3個分

3 取得年月日

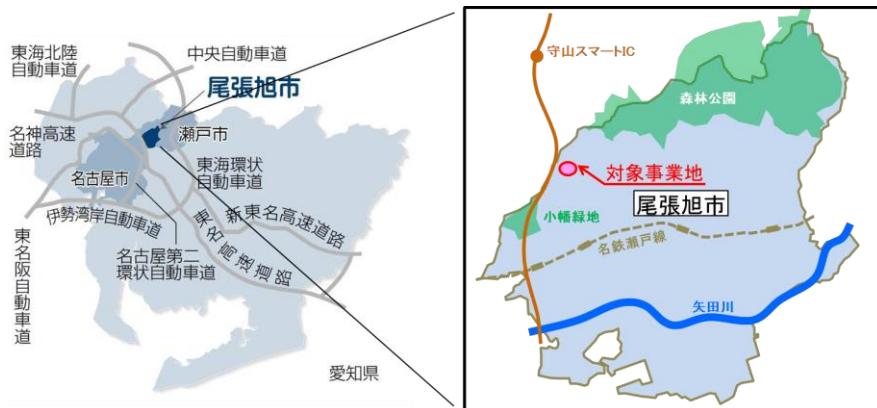
平成24年11月1日

※名古屋市から買取り

4 現況

「旧名古屋市立保育短期大学」「旧名古屋市立若松寮」「旧名古屋市立緑丘小中学校」「旧名古屋市学校給食センター」の跡地

※大小44施設・プール現存（計45施設）、ほか仮設グランドあり



【用語解説】

サウンディング型市場調査：事業発案段階や事業化検討段階において、事業内容や事業スキーム等に関して、直接の対話により民間事業者の意見や新たな事業提案の把握等を行うことで、対象事業の検討を進展させるための情報収集を目的とした手法